

あした TOMORROW

大阪市里親会*会報誌

家族の意味、親子の意味を一緒に考えたい。

No. 4

2015 [H27]
May
5月

大阪市里親会シンポジウム

平成26年11月29日開催

テーマ「親とくらしせない子どもたちの今」

平成26年11月29日、午後1時から大阪市立淀川区民センターにおいて、「親とくらしせない子どもたちの今」をテーマに大阪市里親シンポジウム（2部構成）が開催され、80人が参加しました。

第一部

基調講演では「実親と一緒に生活できない子どもたちの現状」と題し、大阪市こども相談センター副所長の市村好弘氏が演台に立たれ、児童相談や社会養護の現状、また里親登録の流れ、里親への支援について話されました。続いて、パネルディスカッションで現在の里親状況などを報告。その後、質疑応答が行われ、第一部が終了しました。

第二部

第二部では、関西芸術座による劇「おかえり」が上演されました。なお、当日は会場に「個別相談コーナー」が設けられ、相談員が、訪れた里親の質問に熱心に答えていました。

秋季行事

みかん狩り

数田 文字

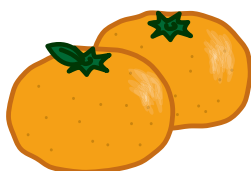
平成26年11月9日、楽しみにしていた「みかん狩り」が例年通り「太子町みかん園」において開催されました。小雨の中、朝から19家庭より大人36人、中高生13人、小学生18人、乳幼児12人、総勢79人が元気に集合しました。

子ども達は駆け慣れた坂を元気に登り、雨の中をワイワイガヤガヤ。みかんを手にいっぱい取ってきては、口いっぱいにはおぼりながら楽しみました。

昼食はバーベキューで、子ども達はコンロにお肉や野菜を自分で焼きながらお腹いっぱい頂きました。今年は、みかん園の方のご厚意により、餅つきを体験させていただきました。小さい子も大きい子も「ヨイショ！」のかけ声とともに杵をつき、どの子もはにかみながらも笑顔いっぱいの経験をしました。外は小雨ですがお腹も喜びもいっぱい一日を満喫することができました。

「来年も、また来たい！」と、元気いっぱいの子と達でした。

皆さまも是非来年、ご家族そろってご参加ください。お待ちしております。



子育ての経験は宝石のよう

社会福祉法人

産経新聞厚生文化事業団

常勤顧問 大船一美氏



◇ ◇ ◇
子育ては人生最大の仕事だと思っている。

私も娘と息子の2人の子育てをし、成長の過程を約40年間、親として見守ってきた。この貴重な期間は私にとっての宝物であり、今なお夢と希望に満ちている。とはいえ、同時に子育ては大きな責任と苦勞がついて回る。

里親会のみなさんとお出合いをしてからの約7年。

子育てへの熱い想い、ご活躍の姿を拝見しつつ、常に尊敬のまなざしで見つめてきた。

◇ ◇ ◇

私の子育てにも、大きな思い出となる経験があった。今から36年前、私は生まれ育った大阪市福島区から、滋賀県の近江八幡市に転居した。娘が4歳、息子は2歳を迎えていなかった。

親の都合で、仲の良かった友達と引き離すのは、いかにもかわいそう。新しい友達をつくるのが親としての役割だと思った。

日曜日、娘や息子と、ご近所の家にも声をかけ、多くの子どもたちと遊ぶようになった。初めての遊びは、道路をキャンバスにしたの「らくがき大会」。参加した子どもたちは10人。往來する車からの見守り役のお母さんに、①子どもたちの行動は自由にさせてほしい ②どんなに汚れて家に帰ってきてても、笑顔で迎えてほしい、と2つのお願いをした。道路に色とりどりの絵を描いていたのは、ほんのしばらくのことだった。後は着ている服に、顔に…。みんな見事な姿に

なった。

以来、この集まりは「どろんこクラブ」と名前が付いた。活動日は月一回の日曜日で、10年以上。多いときには60人もの子どもが参加した。この長い期間の中で、同じプログラムを繰り返さなかったのは、小さな誇りでもあった。

「10メートルの大こいのぼり作り」、体育館いっぱいに繰り広げた「ジャンポカルタ大会」「ジャンボすくろく」。3歳の子どもも走る「駅伝大会」、竹の切り出しから始めた「竹とんぼ作り」「水てっぽう作り」。笹を切って、引きずりながら行った「蛸狩り」。寝ているお父さんの姿しか知らない子どものために行った「お父さんの会社見学」や、「ケーキ作り」の上手なお母さんによる「料理教室」…。多くの子どもとお母さんに囲ま

れながら、お父さん役として私は孤軍奮闘した。兄弟姉妹のいないご家庭や、お父さんのいないご家庭など、さまざまだった。家では一人っ子でも、ここでは兄弟げんかもいっぱい。お兄ちゃんやお姉ちゃんが、小さい子どもをかばったり、教えたり…。近所の

お母さんは、クラブの子ども隊の共通の親になり、私もみんなのお父さんになっていた。

学校と家庭の間には「地域」がある。子育てに理解のあるお母さん方が多くおられたこと、ことのほか元気で、やんちゃな子どもたちに恵まれて、この「地域活動」が10年も続いた理由だと思っている。



わが子の友達作りから始まったクラブの活動も、年長の子どもらが次のプログラムを考えるようになったが、中学生になれば、学校でのクラブ活動もあつて忙しくなり、一連の活動はその役割を終えていった。

実は「どろんこクラブ」の活動の前から、わが家には、子どものための絵本や童話が多くあり、地域の「施設子ども図書館」を開いていた。一部屋いっぱいの本の数は3千冊を超えていた。日曜日には本を読みながら寝てしまっている子どもがいた。その頃飼っていた犬は、こんな日常に慣れ、子どもと女性には絶対



吠えることはなかった。

多くの子どもとの出会いのおかげで、親としての学びをさせていただいた。このキラキラとした10年は、今でも宝石のような経験だと思っている。

里親会のみなさんの活動に敬意を表しながら、今後はますますのご発展を期待したい。

「つなぐ・むすぶ・ひろげる」すべての人が尊重される社会へ

産経新聞厚生文化事業団

新聞社としての社会貢献をめざして昭和19年に設立されました。

社会福祉法人として、支援を必要とする人々のために幅広い活動を展開する公益事業と、障害のある人々を直接支援する社会福祉事業（第1種・第2種）を事業の2本柱に、「つなぐ・むすぶ・ひろげる」のキーワードのもと、すべての人の人権を守り、人間として尊重される環境で暮らすことができ、社会の実現を願って事業を推進しています。

特集

里親さんご紹介

安池 富佐子 さん

32年前のことです。主人の用事で帰りが遅くなり心斎橋を歩いていたら、道端で酔って寝ている母親の傍で、3歳くらいの女の子が泣いていました。

周囲の人はただ見ているだけでした。主人が見かねて母親を起こして、「子どもが泣いている、早く家に帰るように」と声をかけ、親子が帰って行くのを見届けて私達も帰りかけた時、「可愛そうだな」と主人が一言。

後日、児童相談所に行き、里親になるための手続きをして里親になりました。それから30年、大勢の子ども達と出会ってきました。良い子、悪い子、普通の子。どの子どもも皆それぞれに個性を持っています。どの子もわが子同様に育ててきました。

今日までに里子として育てたうち3人の結婚式で親代わりをさせていただきました。今は成長していく子どもたちの心をそーっと、そーっと見守っていいこうと思っています。ありがとうございます。



平成 27 年度 大阪市里親会事業計画

春の里親子のレクリエーション

日時／平成 27 年 5 月 17 日 (日) 午前 10 時 場所／ひらかたパーク (大阪府枚方市枚方公園町 1-1)
内容／里親・里子の懇親を図る。自由遊園 対象／大阪市里親会会員 (里親と里子)

夏季研修会と里親子のレクリエーション

日時／平成 27 年 8 月 21 日 (金)～22 日 (土) 場所／滋賀県近江八幡国民休暇村
内容／里親は、大阪府立大学 准教授 伊藤氏による研修会。子どもはプールとヨガ教室、会食、
里親・里子の交流を図るレクリエーション
対象／大阪市里親会会員 (里親と里子)

街頭活動

日時／平成 27 年 10 月 18 日 (日) 場所／難波高島屋前歩道
内容／里親活動案内チラシを通行人に配布します。 対象／大阪市里親会会員 (里親と里子)

秋季行事・みかん狩り

日時／平成 27 年 11 月 1 日 (日) 午前 10 時 30 分 場所／上の太子観光みかん園
内容／バーベキューとみかん食べ放題 対象／大阪市里親会会員 (里親と里子)

講義型研修

- ① **カウンセリング研修** 日時／未定 場所／大阪市こども相談センター
内容／聞く力の意味を知ろう 対象／登録里親全員、社会的養護に関心のある方
- ② **性教育研修** 日時／未定 場所／大阪市こども相談センター
内容／性教育の知識 対象／登録里親全員、社会的養護に関心のある方
- ③ **年齢別研修** 日時／未定 (4 回開催予定) 場所／大阪市こども相談センター
内容／子どもを理解するために・講義と質疑応答

参加型研修

- ① **コモンセンス・ペアレンティング学齢期版** 日時／未定 (10 月・11 月・平成 28 年 2 月・3 月予定)
場所／大阪市こども相談センター 内容／聞く力の意味を知ろう
講師／梅原啓次 (大阪市専門里親・大阪市里親会会長) 対象／登録里親全員、里親に興味がある方
- ② **委託児童年齢別の里親サロン** 日時／未定 場所／大阪市こども相談センター
内容／本音で語ろう里親の苦労話
- ③ **養護施設見学会** 日時／未定 場所／児童自立支援施設「大阪市立阿武山学園」

近畿地区里親研修会、全国里親大会、大阪府・大阪市・堺市里親合同春季里親研修会、
里親シンポジウムの開催については随時お知らせいたします。



平成 26 年度の主な行事報告

里親シンポジウム

日時／平成 26 年 11 月 29 日 (土) 13 時～16 時 場所／淀川区民センター (大阪市淀川区野中南 2-1-5) 参加／80 名

秋季行事・みかん狩り

日時／11 月 9 日 (日) 10 時 30 分 場所／上の太子観光みかん園 対象／大阪市里親会会員 (里親と里子)
参加／19 家庭より大人 36 名 中高生 13 名 小学生 18 名 乳幼児 12 名 計 79 名参加

街頭広報活動 (里親制度のチラシ配り)

日時／1 月 17 日 (土) 午前 10 時～12 時 場所／なんば高島屋前歩道 対象／大阪市里親会会員 (里親と里子) 参加／14 名

参加型研修 コモンセンス・ペアレンティング【3回連続講座】

時間／各日程 10 時～12 時 30 分 講師／梅原啓次 (大阪市専門里親・大阪市里親会会長)
対象／大阪市登録里親、里親に興味がある方 場所／大阪市こども相談センター

平日開催参加／

- 1 回目・平成 26 年 10 月 1 日 (水) 9 名
- 2 回目・平成 26 年 11 月 4 日 (火) 9 名
- 3 回目・平成 26 年 12 月 2 日 (火) 15 名

日曜開催参加／

- 1 回目・平成 27 年 1 月 11 日 (日) 18 名
- 2 回目・平成 27 年 2 月 8 日 (日) 15 名
- 3 回目・平成 27 年 3 月 1 日 (日) 9 名

今後とも皆さまの情報交換の場として、ご意見、ご投稿をお待ちしております。

発行／大阪市里親会 発行人／梅原啓次 編集担当／藤本昌弘 事務局／大阪市中央区森ノ宮中央 1-17-5 こども相談センター内
☎ 06-4301-3100 Fax 06-6944-2060 ホームページ <http://osaka-city-satooya.jp>